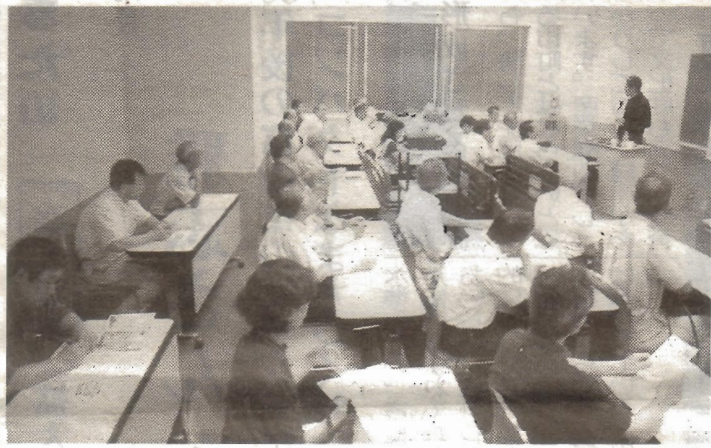


「元気支部」訪問 土木同窓会

「土木を元気にしたい！」 こんな気概をもって多彩な活動を展開



昨年8月に駿河台記念館で開催されたCSネットのオープンセミナー

今年、理工学部土木工学科(4月から都市環境学科に改称)は創立60周年を迎え、その卒業生で構成される土木同窓会も

3年後には発足50周年を迎える。現在の会員数はおよそ1万名。学科の教員も会員となり、毎年必ず役員に選出されているのが大きな特徴だ。そのため学科との結びつきはとて強い。その結果生まれた活動の一つが、学部3年生と大学院生を対象とした就職懇親会。建設や不動産、地方自治体など、さまざまな分野で活躍しているOBのネットワークをいかした取り組みで、後樂園キャンパスで20年以上も続く。この活動を、舌間久芳名誉会長は次のように説明する。

「就職活動で大変な思いをしている学生を見て、『同窓会にもできることがあるはず』と思い、始めました。以来、毎年40〜50社にブースを設営していただき、学生と採用担当者との面談の機会を提供しています。学生た

ちが企業や業界の情報収集に真剣に取り組んでい

る姿が印象的です。夜には懇親会も行つので、学生と企業との間にとてもいい雰囲気の流れができています」

懇談会を継続する背景には、「OB、教員、学生が一体となって土木業界を盛り上げていかなければいけない」との思いがある(舌間さん)とい

う。

2005年、辻田満さんがNPO法人シビルサ



左から、土木同窓会の辻田満さん、CSネットの山本太郎会長、舌間久芳名誉会長

がNPO法人シビルサ

ク(CSネット)を立ち上げたのも、同じ思いからだった。「会員がもつ専門知識や技能を社会に還元し

て、コンサルティング業務に取り組みたい」と思っている

活動拠点となるNPO法人をつくらうと思ったのだと、「CSネット代表理事を務める辻田さんは語る。

「CSネットでは34名の会員全員が、技術士や1級建築士、1級土木施工管理技師などの有資格者。『低炭素社会の構築」

で取り組みたいところもたくさんあります。そのお手伝いを私たちがさせていただきます。なかで、土木事業の大切さが再認識されるきっかけになればうれしいですね」(辻田さん)

「CSネットの活動」

はこうだ。「ここ数年、本学の土木工学科への受験者数が減りつづけ、08年度から定員も130名から80名に減ってしまいました。この傾向は他大学でも同じだと聞き、私たちの同窓会でも、いままでも以上に業界を盛り上げていきたいと思います。何といたって土木工学は社会の礎をなすものですからね」